



THE UNITED CHURCH OF CHRIST IN JAPAN
FUKUOKA CHUBU CHURCH

日本キリスト教団福岡中部教会

中央区大名2丁目4-36

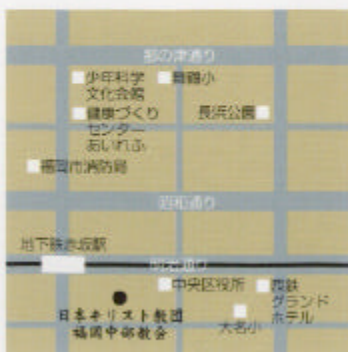
1989年11月完成 / 所有者: 宗教法人 日本キリスト教団福岡中部教会

設計者: (株)一粒社ヴォーリス建築事務所九州事務所

施工者: (株)竹中工務店九州支店

地下鉄赤坂駅から地上に出ると、ビルの谷間の明治通りにはいつも車と人が溢れている。その喧噪をぬけ天神方面に歩く時、いつもふっと引き込まれそうになる空間がある。この教会の前庭である。きれいに刈り込まれた生け垣と手焼きタイルの塀、そして奥に建つ簡素で清潔な印象の教会堂建築に囲まれたこの空間。ちょうど童話「ちいさいおうち」のように、時の流れのなかで取り残されたものだと誰もが思う。ところが決して古い建物ではない。もとは天神にあった教会が1943年、大名に移転し、現在の建物は同じ場所にわずか13年前に新築されたものである。経済効率を追い求め、空間を埋め尽くすことのみで血道を上げてきた我々に、「まちに家(建築)を建てる」ということの意味を改めて考えさせてくれる景観である。

(審査委員 西山 徳明)



HIBARU KOHITSUJI KINDERGARTEN

桧原こひつじ幼稚園

南区桧原2丁目40-1

1985年11月完成 / 所有者: 学校法人 両花畑学園 桧原こひつじ幼稚園

設計者: 村山建築設計事務所・(有)大島設計

施工者: 九州建設(株)

鋭角で構成された抑えたローズ色の壁をくぐって園内に一步入ると、そこは童話の世界だ。森の門番小屋を思わせる丸い建物の先に、アリスのきのこあるいはガウディの作品のようなオブジェが姿を現す。渦巻きタイルの床で靴を脱いで室内に入ると、自然光を取り入れたオープンな空間に大きな木がそびえ立つ。原木の一辺だけを平らにしてはめ込んだ階段を上ってみる。三角窓のついた緑の扉やアーチ型の間仕切りが見えてきて、その向こうには何があるのだろうか、心ざわめく。曲線と斜めに伸びる線、光と闇、温もりと冷たさ、ざらざらとつるつる、歓声と静寂。子ども達はこの空間に触発されてさまざまな物語を編みだし、遊びを創り出すことだろう。ここには感性を育む空間のひとつの形がある。

(審査委員 三浦 佳世)

